

令和8年度「鳥取市 smile 月間」における取組

令和8年8月7日
鳥取市立面影小学校

(1) 児童を対象とした「縦割り班活動」

めあて

- 異学年児童同士が、集団で活動することにより、友達のよさを発見するとともに、縦の学年のつながりを深め、連帯感を育てる。
- 縦割り班活動を通して、上学年児童にリーダーとしての自覚を持たせ、活動の意欲や下学年への思いやりの心を育てる。また、下学年の児童には、上学年の児童と共に協力することで親しみの気持ちや感謝の気持ちを育てる。

① 【縦割り班対抗「ぴかぴか集会」】6月26日 福祉・環境委員会主催

運動会に使ったブルーシートを赤色、青色、黄色、緑色の色別班で仲良く協力して片付ける活動を通して、物を大切にする気持ちを育んだり、色別班の団結力を高めたりした。



縦割り班で協力してシートの水拭き！



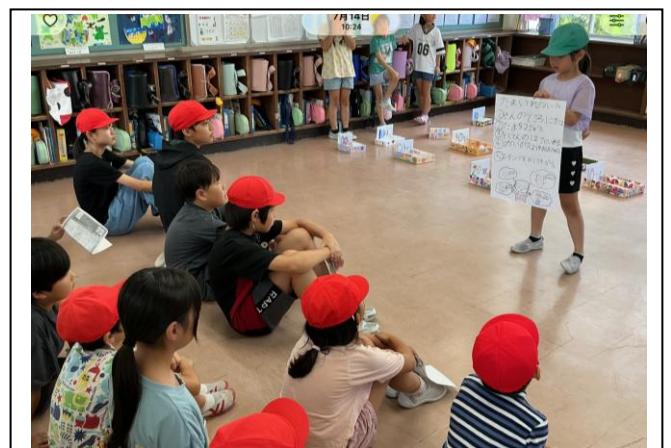
チームごとのがんばりを称えた表彰式！

② 【ホッピーフェスティバル】7月14日 児童会執行部主催

学年の実態に応じて、学級における話し合い活動を中心に企画・実践する力を育んだり、学級内や全校での関わり合いを増やし、好ましい人間関係づくりにつなげたりした。



縦割り班で遊びコーナーを回って楽しみました！



友達の説明もしっかりと聞くことができたね！



楽しい遊びコーナーに地域の方も招待しました！



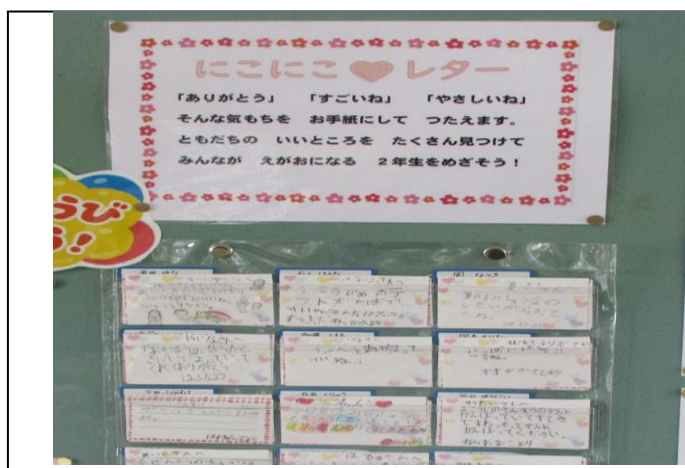
ホッピーフェスティバルのお礼の手紙を届けました！

(2) 全校で取り組んだスマイル標語や学校・学級での取組

各学級でスマイル標語を作成し、人権意識を高め、一人一人が笑顔で過ごせるメッセージとして教室内に掲示した。



児童が作ったスマイル標語を各学級に掲示！



学級での取組「にこにこレター」！



スマイル 10ヶ条を使った6学年の授業！



思いやりを啓発する校内掲示！

R8年度 鳥取市 Smile 月間の取り組み

鳥取市立米里小学校

【児童会を中心とした取り組み】

Smile 月間の取り組みを児童から発信することにより、児童同士がより繋がりを大切に、自分のこととして捉え、相手を思いやる気持ちやいじめを許さないという気持ちを高められるようにした。

〈全校朝会〉

全校児童に向けて、運営委員会の児童が Smile 月間の紹介を行った。その際に、7月の児童集会では、Smile 月間の取り組みを各クラスが発表することを知らせ、人権意識向上やいじめ防止に関する取り組みへの意欲を高めた。



〈学級会・各学年の取り組み〉

各学級で学活の時間に、いじめのない笑顔いっぱいの学級にするために、自分たちにどんなことができるのか等を話し合った。学級会で話し合ったことをもとに、みんなが笑顔になるためのポスターを作成して掲示したり、友達を大切にするための行動を広げたりして、学校全体での啓発につなげた。

〈児童集会〉

運営委員会が司会進行を行い、各学級の代表児童が Smile 月間の取り組み内容を全校に向けて、ポスターを使ったり、挨拶を実践したりして発表した。その後、発表を聞いた感想を全校で交流した。



【こころの参観日】

〈各学年の様子〉

道徳・学活・自立活動等で人権教育に関わる学習を行った。



〈保護者・地域〉

人権教育研修会では、鳥取県教育委員会人権教育課の山根聡先生に来ていただき、「人間関係づくり」をテーマに講演・演習をしていただいた。保護者や地域の方々と一緒に理解を深めた。



【通年：たてわり班遊び】

たてわり班遊びで他学年と交流する活動を通して、上級生は下級生に対する思いやりの気持ちとリーダーシップを、下級生は上級生に対する尊敬の気持ちとフォロワーシップを育てている。活動日までに6年生が活動を企画し、当日の進行をするなど、児童が主体となり、つながる楽しさを感じられる活動になるように取り組んでいる。また、ペア学年の活動や行事の中でも活用し、学年を超えた交流を深めることで、互いを思いやり、安心して関わり合える学校づくりにつながっている。



(1) 鳥取市 Smile 月間の趣旨に沿った取組の様子

① スマイル参観日…各学級が、人権教育の視点で授業公開を実施



② 全校なかよし遠足

…なかよしペアで手をつなぎながら目的地へ歩き、目的地では手つなぎリレーやフラフープ渡しなどのなかよし班活動を行い、つながりを深めた。



③ 桜ヶ丘中学校区共通実践「桜咲タイム」

…毎週金曜日の朝10分間で行う、よりよい人間関係を作るための短時間グループアプローチ。アドジャンを中心に、二者択一、いいところ探しなどを行う。



④ 児童会主催「なかよし班別クイズラリー宝さがし」

…全校がつながり、もっとなかよくなるためのイベントを開きたいという思いをもって、リーダー委員会が中心となって取り組んだ。なかよし班で協力してクイズラリーをまわってクイズに挑戦し、なかよしペアの友達と宝物である手作りの折り紙作品を交換した。「いつもありがとう。」「これからもよろしく。」と声をかけながら笑顔で受け渡していた。



(2) 「鳥取市 Smile プロジェクト」の趣旨に合った児童生徒等の写真



令和8年度 鳥取市 Smile 月間の取組について

鳥取市立若葉台小学校

〈全校〉

人権教育参観日

- ・公開学習前に、中学校区の取組「桜咲タイム」の様子も公開した。コミュニケーションの中で言葉を大切にすることや、相手意識をもつことなど、人権意識を高めるように働きかけながら、子どもたちが友だちとのやり取りを楽しんでいる姿を参観していただいた。

【桜咲タイム】



【公開授業】

- ・公開学習は、教科を限定せず、人権教育全体計画、年間指導計画の中から相応しい内容を考えて実施した。



人権教育参観日 保護者感想

- ・友達関係も広がる中で相手の立場になって考えたり、言い方を考えてお互いの思いを知ったりすることは、これから中学年になる上で大事だと感じた。
- ・自分だったらどうするかな、と考えることは、これから生きていく中でとても大切なことなので授業の中だけでなく、ことあるごとに暮らす中で話してもらえたらと思います。家庭の中でも話していこうと思います。
- ・道徳では、自分以外の考えや思いに触れられるため、保護者である私自身にとっても学びの多い時間となりました。
- ・参観は道徳でした。仲間に対する思いや気持ちがテーマが故に、親として身の引き締まる思いになりました。
- ・人間関係について考える機会を親の立場からも考える機会を持つことができ、大変有意義でした。このような課題は継続的に話し合うことが重要だと思いました。
- ・私の時代にはなかった SNS についての授業は、これからの子どもたちにとって大事な授業だと感じました。いろいろな人とすぐに繋がってしまう怖さもあり、楽しさもあり、慎重に使っていかないといけないと思いました。子どもと使用についてしっかりと話し合ってトラブルに巻き込まれないようにしたいものです。
- ・テーマに沿ってみんなで考え、相談している姿が見られて良かった。
- ・授業を通して、少しでも勇気を持って、まずやってみよう！前に進んでみよう、という前向きな考えや行動力が増えていくと良いなと思いました。

【人権教育研修会】

講演テーマ：『学んで話彩や（はなさいや）「性別に関わるモヤモヤありますか？」
～ジェンダーから考えるアンコンシャス・バイアス～ 』

講師：話彩や コミュニケーター
佐藤 淳子さん 他 5 名



講演会は、愛育会主催の研修であり、本年度は、若葉台地区人権教育推進協議会との共催であった。講師の先生のお話を聞くとともに、性別に関わるモヤモヤについての考えをグループ討議した後、各グループの話合いについて共有するなど、大変有意義な研修会であった。



2026（令和8）年6月27日

若葉台地区人権教育全体研修会

若葉台小学校愛育会人権教育研修会

参加者 愛育会 20人：地域 15人 学校 15人 計50人

【スマイル標語の取組】

いじめや人権問題について考えた人権標語を全児童が作成し、人権教育参観日に合わせて掲示し、保護者の方にも見ていただけるようにした。



各種アンケートや面談の実施

・ 学校生活アンケートの実施

毎日の自分予報のアンケート、毎月の生活アンケートを実施し、児童の安全・安心について実態把握している。アンケートの結果を受け、記述のあった児童に担任が聞き取りをしたり、関係する児童からも話を聞いたりし、状況に応じて指導している。また、その後の様子も気をつけて見守ったり、児童支援委員会でも情報共有したりしている。

・ ふれあい面談の実施

自分予報や生活アンケートを活用し、ふれあい面談をし教師間で情報共有することにより、児童がよりよい人間関係のもと、安心して学校生活が送れるように支援した。

大掃除週間（フレンズ掃除）

- ・ 異学年の仲間と協力しながら掃除をすることで、学校をきれいにしようとする態度を育てることをねらいとして実施した。年長者は自分の役割を自覚して、年少者の手本となるように一生懸命に行動したり、リーダーシップを発揮して年少者に働きかけたりした。年少者は、年長者を手本として黙って静かに取り組む姿勢を学んだり、協力してきれいに掃除したりしようとした。この取組は、仲間同士の高め合いに少しずつつながっており、今後も毎週木曜日にはフレンズ掃除を継続していくこととしている。

「きりんの木」の取組

- ・ 学校生活の中で気がついた友達のよいところや、努力しているところ、地域の人々の素敵なところを葉っぱカードに記入し、「きりんの木」の掲示板に掲示している。
- ・ 給食時には、放送委員会がその中でもよいと思われる内容を見つけて、読み上げて紹介した。



委員会活動の取組

各委員会で、人権について考え、人権に関わる企画を計画し、実践している。

〔スマイル月間 各委員会の活動内容〕

- 図書委員会** ○6月15日～30日まで「スタンプラリー&パズルイベント」を実施した。
・本を読むことで温かな心の育成を目指すだけでなく、学級の友達と協力して行うパズルイベントにしたことで、学級の一員としての自覚を高めたり、友達と繋がったりできるようにした。
- 放送委員会** ○6月22日～30日まで給食時間の放送のコーナーで「きりんの木」を全校に向けて紹介した。
・お互いの接し方を認め合うことで、自己肯定感を高めることのできる取り組みのひとつとなった。学級でも紹介された児童は嬉しそうにしていた。
- 給食委員会** ○6月15日～6月30日まで給食調べ（「給食当番が取りに来る・返す時の様子」や「残菜」調べ）を行った。7月に上位3クラスに表彰状を届けた。
○給食標語の募集、全児童が学校給食標語の作成に取り組んだ。（学校給食会主催の「学校給食標語作品募集」への応募を兼ねる）
・給食に係る人や食べ物への感謝をより深く考え、感じる機会となった。クラスで頑張ろうとする団結力や給食委員のやりがいにもつながっていた。
- 運動健康委員会** ○全校ラジオ体操の実施（6月23日実施）
・全校の友達と一緒に、楽しく体を動かす活動を行った。
・朝にラジオ体操を行うことで、良い一日のスタートを切った。
○全校鬼ごっこの実施（6月30日実施）
・楽しみながら体を動かした。異学年で関わりながら遊ぶ姿も見られた。
- 飼育栽培委員会** ○植物の種をまいたり、球根を植えたりする活動を行った。（7月7日実施）
・植物の種をまくことで、その植物を大切にしようとする心をもつと同時に、命や自然の大切さに気付くことができる。
・花を様々な人と関わりながら植えることで、相手の気持ちを考えようとする。
- SDG s 委員会** ○日頃からSDG sに協力している方々へ感謝の気持ちを広げる活動を行った。
・朝の玄関掃除のとき、自分の決めた取り組み内容を行うと同時に、登校してきた児童に進んで挨拶をした。
・エコ活動に参加してくれた人へ「ありがとう」と気持ちを進んで伝えた。
取組をきっかけに、スマイル月間後も進んであいさつしたり、気持ちの良い声かけをしたりするようになった。
- 運営委員会** ○全校遊びを企画し、みんなが楽しく活動することで、より仲良くなれるような取り組みをしようと計画した。
・暑さを考慮して9月に延期した。
・代表委員会で決まった「手つなぎおに」を実施する。



取組をきっかけに、あいさつする声が大きくなり、継続しています。



飼育栽培委員会がリードした種まき体験



気持ちよく体を動かしました。



学級で協力してパズルを完成させようと盛り上がりました。



児童会の取組

【花いっぱい運動】

- ・花を育てることにより、命の大切さを感じ、情操を養うことや、児童会の一員として責任をもって世話をし、学校や地域にきれいに花を咲かせようという意欲をもつことを目的として、フレンズ班（縦割り班）を活用して取り組んでいる。
- ・「愛育会」「まちづくり協議会」「公民館」などの保護者や地域の方と児童が協力して花の苗植えをし、学校や地域にプランターを配布した。



若葉台のまちのことを考えながら、心をこめたメッセージをプレートに書きました。

児童と地域のみなさんで一緒に苗植えを行いました。



子どもたちのメッセージ付きのプランター
を5，6年生が届けました。



ウチ 桜ヶ丘流、エガオの咲かせ方

鳥取市立桜ヶ丘中学校

・目的：

①桜ヶ丘中として10年以上取り組んでいる桜咲タイムで、より良い人間関係を作る方法を学ぶことができるようになるため。

②話し方、聴くときの態度、聴き方を身に付けることで、相手を大切にすることができるようになるため。

③桜咲タイムで身に付けたコミュニケーションスキルは、人を大切にし、人から大切にされるつながりを作り出す。その関係性の構築で、いじめの発生を抑止することにつなげるため。

・内容：桜ヶ丘中学校として週に1回10分間のエクササイズとして取り組んでいる。この取り組みは小中学校区すべてで9年間継続して取り組んでいる。桜咲タイムのねらいは別にもあるが、いじめ防止にも一助となっている。期間限定の取り組みではなく通年の取り組みではあるが、鳥取市smile月間にも取り組んでいるので報告した。

・参加：全校

・期間：通年（smile月間内6月10日、17日、24日、7月1日）

・時間：毎週水曜日5限後15：30～15：40（普段の掃除の時間をカットして行う）

・場所：各教室



※笑顔のコミュニケーションを通してみんなのエガオの華が咲くそんな活動です。桜咲タイムは教頭先生も校長先生も学年担任も関係なく、全教員が関わり、みんなでより良い関係を創っていきます。